

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



はむらの 教育



各小学校では夏休みの期間を利用して、水泳指導教室を実施しています。
子どもたちは元気に登校し、プールを楽しんでいました。
暑い夏も段々と終わりに近づき、秋の季節がやってきます。

生涯学習センターゆとろぎ

「アートinはむら展」子どもたち

○19thアートinはむら展
鑑賞教室

「アートinはむら展」開催期間中、市内の小学4年生約50人がゆとろぎを訪れ、作品を見て回る「鑑賞教室」が実施されました。初めに、展示室に飾られている作品を見ながら子どもたちは率直に感じたことを述べ、その後作者から絵に込めた思いを聞き、作品に対する理解を深めていました。次にグループごとに分かれ、鑑賞サポートボランティアの方と共に館内を隅々まで回り、会話を通して鑑賞を楽しみました。最後の自由行動では、各々が眺める姿が印象的でした。子どもの頃から本物の芸術に数多く触れることはとても貴重な体験であり、子どもたちの豊かな感性と創造力を育み、文化的教養を身に付ける機会となっています。



○「アートinはむら展」とは..

「アートinはむら展」は、アート作品を展示室だけでなく屋上や通路など、ゆとろぎ施設全体に展示することで気軽に芸術作品に触れる機会を作り、ワークショップやギャラリートークを通じてアーティストと交流する機会の拡大を図ることを目的に毎年実施している企画展です。

令和元年7月3日(水)～7月15日(月・祝)の期間、ゆとろぎにて、19回目となる「アートinはむら展」を開催しました。

今年度は54名のアーティストが参加し、地下から屋上まで計60点の現代美術作品を展示し、2,000人を超える方々が来館されました。

ワークショップは「電線でケール妖怪をつくろう!」というテーマで、カラフルな電線を使い、自由な発想で作品を作り上げていました。また、ギャラリートークの前には展示室にてヴァイオリンの演奏を行い、美術と音楽のコラボレーションを楽しめる空間となりました。



▲ゆとろぎ展示室



▲ギャラリートーク



▲ワークショップ



▲ヴァイオリン演奏

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ ☎570-0707

郷土博物館と学校の連携

学習指導要領には、各教科等の特質に応じた体験活動を重視することや、博物館等の施設を積極的に活用し、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実することが明記されています。郷土博物館では、こうしたことを踏まえて、各学校と連携し、児童の体験学習を実施しています。

郷土博物館には、毎年多くの方にお越しいただいています。なかでも、小学生の来館が大変多くなっています。これは、玉川上水やむかしの人のくらしについて学ぶためで、これに合わせた内容の展示や説明に当館では力を入れています。



▲実際に水が流れる模型を使って詳しく解説します！

玉川上水については、特に小学生の見学の多い5月～12月にかけて、専用のパネル展示を行うほか、実際に水の流れる羽村堰せきの模型を使ってその仕組みを紹介しています（ちなみにこの模型を使った説明は12月15日（日）までの間の土・日・祝日の午前10時と午後2時にも行っていますので、一般の方もぜひご覧ください）。また、むかしの人のくらし（ここでは昭和の初め～半ば頃を扱います）については、子どもたちが学習を深められるよう、事前に小学校の先生方との打ち合わせも行っていきます。先生が子どもたちに伝えたいことを学芸員や博物館職員が聞き、郷土博物館側が子どもたちにとってほしいと考えていることを

先生方にお伝えし、展示内容のすり合わせを行います。先生方には郷土博物館の収蔵庫内も見てください、授業で使用したい資料があれば、各学校へお貸ししています。

郷土博物館は、実物を見て、触れて、体験してもらうことができるところです。また、どんなことが体験できるかを先生方にお伝えし、それを参考に授業を行っているただくことで子どもたちの理解は何倍にも深まると考えています。実際に、見学に来てくれた子どもたちからのお手紙には、私たちに思いもよらない質問が書かれていることがあります。これは子どもたちが体験を通じて、自分たちで考え、理解を深めてくれた結果だと考えています。

郷土博物館にはたくさんの方がいますが、それらを見るだけで学習に結び付けることは、難しいと思います。むかし使われていた道具からどんなことがわかるのか、その道具に残る様々な情報をわかりやすくお伝えすることも郷土博物館の仕事です。



▲実際に蚕を飼っていた「蚕室」を再現した展示を見て学びます！



▲石臼も実際にひいて体験！

【問合せ】

郷土博物館

☎ 558-2561

「生涯学習センターゆとりぎ」からのお知らせ

ゆとりぎ身近なサイエンス講座

「台風・集中豪雨はなぜ起こる・・・」

天気予報の最前線

近年「異常気象」による災害が各地で起こるようになってきました。気象予報と研究の最前線におられる気象庁の講師をお招きして、「台風・集中豪雨がなぜ起こるか」に焦点をあて学びます。

日時 9月14日(日)

午後1時30分～3時30分

会場 ゆとりぎレセプションホール

講師 永井 佳実さん

(気象庁 東京管区气象台 気象防災情報調整官)

参加費 無料

定員 70人(先着順)

※申し込み状況などは、ゆとりぎへお問合せください。

申込み 午前9時～午後8時に、電話・

電子申請サービスまたは直接ゆとりぎへ。 ※祝日以外の月曜日休館

保育 対象・1歳6ヶ月～未就学児、

定員・4人(先

着順、費用700

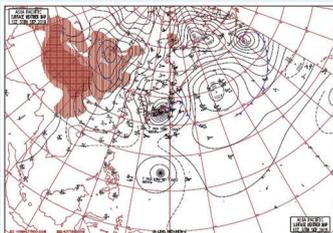
円)、申込み・

9月6日(金)午

後5時までに、

ゆとりぎ窓口

へ



▲台風第24号(2018年9月30日)「気象庁提供」

国際理解講座

「情熱の国～スペインを知る」

他国の生活や文化などを理解することは、改めて世界中の日本を知ることにもつながります。

今年度は「スペイン」を取り上げ、スペインの歴史・文化・特色を学び、スペイン語の初歩にも触れます。

日時 10月6日(日)

午後2時～4時

会場 ゆとりぎレセプションホール

講師 高松 英樹さん

(中央大学商学部教授)

参加費 無料

定員 50人(先着順)

申込み 9月3日(火)(市外の方は9月10日(火))からの午前9時～午後8時に、電話・

電子申請サービスまたは直接ゆとりぎへ。

※祝日以外の月曜日休館

接ゆとりぎへ。

※祝日以外の月曜日休館



▲講師の高松英樹さん

2019年度多摩・島しょ広域連携

活動助成事業子ども体験塾

日本・オーストリア修好150周年記念

子ども国際交流音楽祭

交流コンサート

音楽の都ウィーンから、名曲の数々を2部構成でお届けします。

第一部では、羽村市・檜原村・奥多摩町の子どもたちがウィーンの名な演奏家たちと交流演奏し、また、西多摩出身の若手音楽家たちが歓迎演奏を行います。

第二部では、世界を代表するウィーンの著名な音楽家たちが、名曲を木管五重奏で演奏します。

日時 10月14日(月・祝)

午後5時～(開場:午後4時30分)

会場 ゆとりぎ大ホール

入場料 1,000円

※チケットはゆとりぎ窓口で販売

しています。(全指定席)

※未就学児は入場できません。

主催 子ども国際交流音楽祭実行委員会



▲ウィーン・フィルのメンバーを中心とした木管五重奏団

福田岩緒絵本原画展

「絵本の中の子どもたち」

小学4年生の道徳の教科書に掲載されている「ええことするのはええもんや」などの原画を展示します。表情豊かな子どもを描く福田さんの原画をご覧ください。

期間 9月18日(水)～29日(日)

午前10時～午後5時

(最終日は午後4時まで)

会場 ゆとりぎ展示小室

入場料 無料

◆児童文学講演会

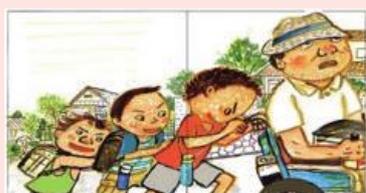
福田さんを招いて、皆さんからの質問をもとに絵本に関するお話をさせていただきます。

日時 9月23日(月・祝)

午後2時～

会場 ゆとりぎ展示小室

入場料 無料



▲小学4年生の道徳の教科書に掲載「ええことするのはええもんや」

【問合せ】

生涯学習センターゆとりぎ

0570-0707

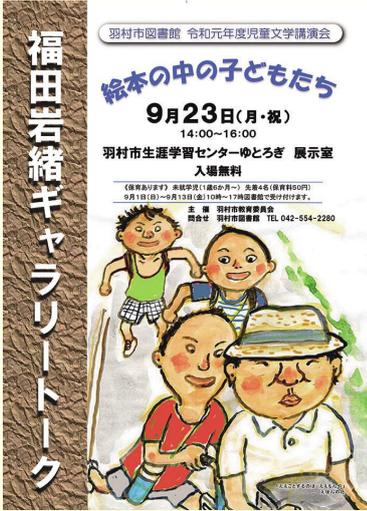
図書館からのお知らせ

児童文学講演会に行ってみよう！

楽しい絵本、面白い絵本、心に残る絵本。そんな絵本を作家の人はどんな思いで描いて、作品として残していくのでしょうか。

図書館では年に1回、絵本作家の方を招いて、ご自身の作品や作品に込めた思いなどについてお話をさせていただく児童文学講演会を開催しています。令和元年度の児童文学講演会では福田岩緒先生をお招きし、いろいろなお話をさせていただきます。

この講演会は生涯学習センターゆとろぎの絵本原画展と合わせて実施します（右ページ下を参照）。講演会の会場には福田先生の心あたたまる多くの原画も展示しますので、絵本についてのお話と、原画の両方を堪能することができます。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。詳しくは図書館までお問い合わせください。



蔵書点検のお知らせ

10月22日(火・祝)～31日(木)は蔵書点検のため休館します。例年は6月に実施していますが、今年度はシステム入替の関係で10月に実施します。

利用者の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

蔵書点検ってなあに？

蔵書点検では、図書館に所蔵している資料の確認をします。実際の図書が置かれている場所とデータ上の登録場所の違いがないか、行方がわからなくなっている資料がないかなどの確認をします。

蔵書点検ってどんなことをするの？

2人1組で作業を行います。1人が資料を書架(本棚)から出し、もう1人が1冊ずつバーコードを読み込んで確認します。



【問合せ】 図書館 ☎ 554-2280

郷土博物館からのお知らせ

特別展「おさいほうを習う〜きものひな形〜」展示準備中！

みなさんは「きものひな形」というものをご存知でしょうか？裁縫を学ぶために、ひな形尺という、実際の大きさの約1/3の縮尺の特別なものさしを使い、小さく仕立てられた着物で、和服も洋服もあります。着物を仕立てる際の布地を節約しつつ、短期間で様々な裁縫の技術を習得できるという利点から、裁縫学校などで課題としてつくられていました。

本展示では、舞踏会用のドレスやベビウエア、男性用の長袖シャツ、袴、コート、女性用の水着など、当館に収蔵されている様々な種類のひな形をご紹介します。

また、この記事の写真で紹介しているものは全て、明治時代に羽村の女学生が学校の授業でつくったものです。ミニチュアの着物ですが、そのつくりはとてつても緻密で丁寧です。とても可愛らしい「ひな形」をぜひご覧ください。

※特別展「おさいほうを習う〜きものひな形〜」

期間 9月14日(土)～12月22日(日)、午前9時～午後5時まで
会場 郷土博物館 企画展コーナー、オリエンテーションホール、学習室

入館料 無料

休館日 月曜日(ただし祝日は開館)

9月24日(火)、25日(水)、26日(木)

【問合せ】 郷土博物館 ☎ 558-2561



▲和服、洋服、様々なひな形

高等学校等の入学に向けて

羽村市の入学資金融資制度を活用しましょう

令和2年度に高等学校や大学などに入学する生徒の保護者を対象として、入学の際に要する資金の調達が困難な場合に、入学資金などの融資を市内の金融機関にあっせんし、その融資に対する利子などを全額補助します。まずは生涯学習総務課総務係まで問い合わせてください。



申込みが可能な保護者

次のすべてに該当する方です。

- ①高等学校などに入学する生徒等の保護者で入学の際に要する資金の調達が困難な者
- ※高等学校、中高一貫校の後期課程、特別支援学校の高等部、大学（短期大学）、高等専門学校、専修学校の高等課程及び専門課程、サポート校など
- ②市内に引き続き1年以上居住していること
- ③保護者（父母等）の総所得が70万円以下であること
- ④すでに納期の到来した市税等（給食費を含む）を完納していること
- ⑤取扱金融機関が指定する保証機関の保証を受けられること
- ⑥入学資金に関して同種の融資（他の融資で入学時のみの融資を対象としたもの）を受けていないこと

融資資金の対象・限度額

①融資資金の対象は、入学手続と同時に学校に入金する入学金（料）と入学支度金（料）です。入学金（料）は施設費を含みます。入学支度金（料）は、制服（体育着などを含む）、教科書などの経費で、学校が指定するもので年度内に支払うものが対象となります。

（※領収書の提出が必要です。）

②入学金（料）の限度額は100万円、入学支度金（料）の限度額は20万円です。ただし、入学者が複数いる場合は、入学支度金（料）に関しては20万円×人数となりますが、同一世帯に対する限度額は入学金（料）も含め120万円です。

利子と保証機関の保証料の全額補助

利子は市が全額補助しますので無利子です。融資には保証機関の保証を受けていただきますが、その保証料についても、市が全額補助します。

【問合せ】生涯学習総務課総務係（内線354）

児童・生徒の保護者の皆さんへ
学校給食費の納入をお忘れなく



学校給食の食材料費は、保護者の皆さんに負担していただくことになっていきます。給食費が未納になると、食材の購入にも影響があります。

給食費は、基本的に口座振替で納付していただいておりますが、残高不足などにより引き落としができず、未納となってしまう場合もありますので、口座残高の確認をお願いします。

なお、未納の場合は学校から連絡がありますので、速やかにお支払いいただきますようお願いいたします。



【問合せ】
学校教育課
学務係
（内線358）

◆給食費一覧◆

校種	学年	月額
小学校	1・2年生	3,870円
	3・4年生	4,040円
	5・6年生	4,210円
中学校	全学年	4,750円

引き落としの際には、別途手数料がかかります。
※各学校の食数により、3月分の金額は変わることがあります。

学校図書館司書の方へインタビュー!! 【前編】

「読書活動で人をつなぐ」

学校図書館司書 小柳 香英さん（羽村第二中学校）

市内の各小・中学校には図書室で働く学校図書館司書が在籍しています。

出勤すると、開室準備をし前日の図書当番日誌を確認します。返却された本を戻しながら書棚をチェックするところから仕事を始めます。

また、図書室内の本の購入も学校図書館司書が行っており、毎年選書を行い、昨年を例に挙げると約700冊が図書室に届きます。

また、古くなり傷みが激しく修理ができない本など、廃棄する本も選書します。

展示コーナーや本のポップを作成し、生徒が読みたい本を手に取りやすくなるなどの工夫することも仕事のひとつです。



▲図書室に入ると、すぐに展示コーナーがあるので生徒が気になった本を手に取りやすくなります。

学校図書館司書の方の声

この仕事のやりがいを感じる時は、生徒にすすめた本が「面白かった」「役に立ちました」などと言ってもらえた時です。また、図書室でイベントを開催した時、発表する生徒のキラキラ輝いている姿を皆さんに見ていただけました。

本を通して生徒と交流できることに喜びを感じています。中学生に合った幅広い興味や興味に対応する本を揃えられるように日々色々な分野にアンテナを立てています。

中学時代に本を読み人生の可能性を広げるお手伝いができたらと思っています。

ぜひ、図書室を利用してください。図書室はあなたの一言を大切にしています。



▲この仕事を始めたきっかけは、「本と人との交流が好きだったから」と話す羽村第二中学校で学校図書館司書として働く小柳香英さん。

【問合せ】生涯学習総務課総務係（内線354）

学校図書館司書の方へインタビュー【後編】は次回11月1日号で掲載します。楽しみに!!

教育随想

7月20日・21日の二日間、ゆとろぎで第四回HAMURARIリーボン演劇祭が開催されました。私はコーディネーターとして第一回から関わり、中学・高校演劇部、社会人・シニア劇団など、さまざまな団体を鑑賞させていただきました。

今思い出すと、昨年までは出演団体を確保することと各団体が無事に終演を迎えることばかりを、気にしていたように思います。でも今年は少し、出演者たちの素顔を見る余裕ができました。そうして見えてきたのは「人間は本能として表現欲求がある」という、心理学では常識になっていることでした。

今年初参加の団体はありませんでしたが、特徴として参加団体のオリジナル脚本が多くありました。中でもある演劇部は、自身のノンフィクションと思われる脚本を書いた生徒が主演もしていて、印象に残りました。最近の中高生はクラスで目立つといじめに繋がることを恐れ、自分を出さずにいる生徒が多いとわれています。だから自分で書いた脚本に主演するのは、自らの勇気と部活の仲間たちの理解に支えられてやり遂げることができたのだらうと思います。

また、ある顧問の先生が「ふだんはおとなしい生徒が、舞台上でスイッチが入るとすっかり役者の顔になる」と、おっしゃっていました。これは高校生に限ったことではなく、私が指導に行っている中学校の演劇部でも生き生きと演じる生徒を見て、担任の先生が驚くことはよくあります。いつも目立たないようにおとなしくしていても、本当は自分を表現したい熱い気持ちがあるんだなあと感じます。日本の若者は自己肯定感が低いとよく言われますが、自分を表現することをあきらめないでほしいと願います。演劇でなくても、表現方法はいろいろあるのですから。

またメリーリボン演劇祭は『人と人、人と演劇がつながる』ことも目指しています。ほんの一時期でも、いろいろな世代の人たちが演劇を通して生き方や考え方の多様性を知り協働することは、その後の人生を豊かにしてくれる…そうあることを願っています。学校の部活動と生涯学習の融合で始まった夏休みを、参加者の皆さんはどう過ごし、九月を迎えたのでしょうか。



教育委員会委員

塩田 真紀子

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。



※市民体育祭は、体育協会が市から運営を委託されています。

種目 町内会・自治会対抗種目
4種目のほか、参加自由
種目も多数あります。

開会式 午前8時45分
閉会式 午後3時30分
会場 富士見公園グラウンド

日時 10月13日(日)
※雨天順延 14日(体育の日)
家族そろって、またはお友だち
同士で参加してください。

第72回 羽村市市民体育祭

特定非営利活動法人
羽村市体育協会
TEL 555-11698

羽村市文化協会

TEL.579-2772

第50回 羽村市文化祭 【入場無料 (カルメン除く)】

「つなごう 令和へ 未来へ 羽村の文化」 会場 生涯学習センターゆとろぎ

● 展示発表 ●

第1期	10月16日(水)~20日(日)	東・西洋的な表現 書道、篆刻、水彩画、水墨画
第2期	10月23日(水)~27日(日)	東洋的な表現 油彩画、日本画、水墨画、写真、陶芸、手工芸、茶道
第3期	10月30日(水)~11月3日(日)	西洋的な表現 華道、写真、手工芸、水彩画、油彩画他

● ホール発表 ●

10月5日(土)	小中学生音楽フェスティバル
10月19日(土)	合唱 芸能他
10月20日(日)	洋楽器
10月26日(土)	日舞
10月27日(日)	洋舞 芸能他
11月2日(土)	洋舞他 フォークダンス・盆踊り
11月3日(日)	邦楽

● 特別企画 ●

10月11日(金)~14日(月祝)	【指導者展】
10月11日(金)~11月3日(日)	【わたしの夢展】
10月12日(土)	【OYAJI バンドフェスティバル】 北杜篠笛会・プラス5 (北杜市)・やまたにし・ほぼ中原家・ VIVA DE FUNK・ハイブリッドジャズオーケストラ
11月4日(月祝)	【音楽公演】 ゆとろぎオペラ「カルメン」9/1日(日)からチケット発売

● 体験教室 ●

展示第1期	書道
展示第2期	ニット (金土日) チョークアート
展示第3期	生け花 (土のみ)
10月26日(土)	マジック・詩吟
11月2日(土)	日舞・フォークダンス

※日程・内容は変更する場合があります。詳しくはポスター、チラシにてご確認ください。

■第78回サロンコンサート【入場無料】

9月1日(日)	正午~12時45分	3階創作室1
内容 演奏:高橋路子さん(マリンバ)、山本やよいさん(ピアノ) マリンバとピアノの共演をお楽しみください。		

■文化サークル&体験教室と紹介

9月1日(日)	13時~16時	3階創作室1&2
内容 詩吟 玉すだれ ニット		

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	